

導入をスムーズに進める！

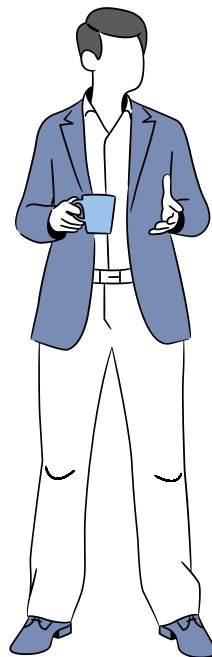
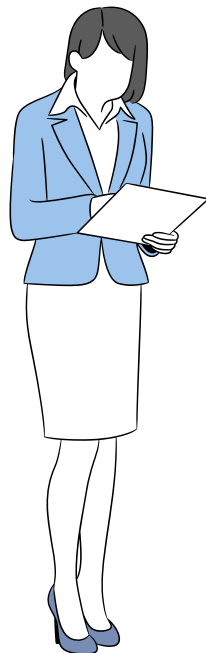
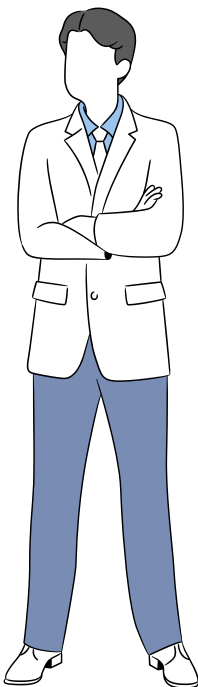
乗り換えガイドブック

移行作業の見積もりの
参考資料が欲しい

人事情報の移行に
時間をかけたくない…

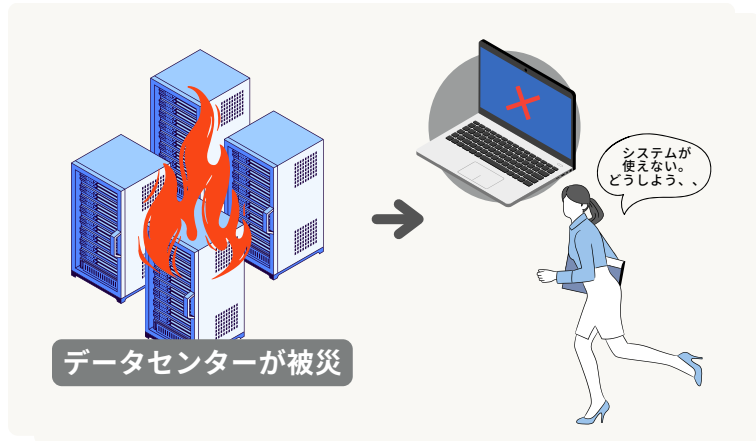
システムの乗り換えで
混乱させたくない…

簡単に情報を入
力したい…



安否確認サービス2は使いやすさにこだわったシステム！ メンテナンスの手間を最小限に、さらに全国同時一斉訓練で災害時の稼働も確認できる！

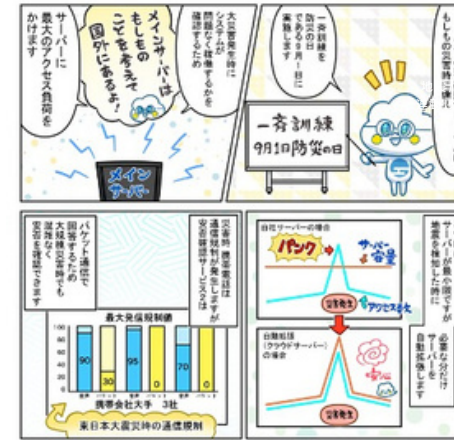
1 災害時にシステムが稼働しなくて、情報収集に膨大な時間がかかった



国内にデータセンターがある場合、そのデータセンターが被災してシステムが使えなくなることがあります。またアクセス増加によってシステム障害が発生することもあります。

安否確認サービス2で解決！

負荷検証を兼ねた **一斉訓練** で災害時の稼働を検証！



一斉訓練レポート

参加数

一斉訓練参加企業数	1248社
一斉訓練参加ユーザー数	441,292ユーザー

回答に関する統計値の全体平均との比較

	トヨタモト株式会社	全社平均
回答時間の最遅値	1.03分	8.99分
回答時間の25パーセント値	0.63分	15.03分
回答時間の中央値	1.53分	48.23分
回答時間の75パーセント値	9.63分	127.83分
回答率	100.0%	84.0%

※回答時間の遅延は、回答時間最遅値にのみ表示します。このことから遅延では、その他の参加企業と比較して、遅延に陥っているユーザーが少なく見えます。この時点で、悪い傾向を察知しましょう。

※回答時間の遅延は、回答時間最遅値にのみ表示します。このことから遅延では、その他の参加企業と比較して、遅延に陥っているユーザーが少なく見えます。この時点で、悪い傾向を察知しましょう。

※回答時間の遅延は、回答時間最遅値にのみ表示します。このことから遅延では、その他の参加企業と比較して、遅延に陥っているユーザーが少なく見えます。この時点で、悪い傾向を察知しましょう。

安否確認サービス2に最大限のアクセス負荷をかけることで、災害時にアクセスが集中してもシステムが稼働すること、安否確認メールへの回答方法や指示出しの流れなどを確認できます。参加者には、訓練レポートを提供しているため他の参加企業と比較しながら、訓練の結果を振り返ることができます。

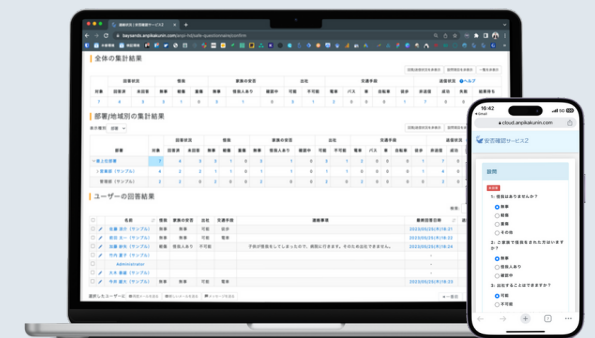
2 使いにくく利用が定着しなかった



普段なかなか触れることのない緊急時に利用するツールだから、いざという時に使えない。結局使いづらくて、利用が定着せず従業員の安否状況や施設の被害などの情報を集められない。

安否確認サービス2で解決！

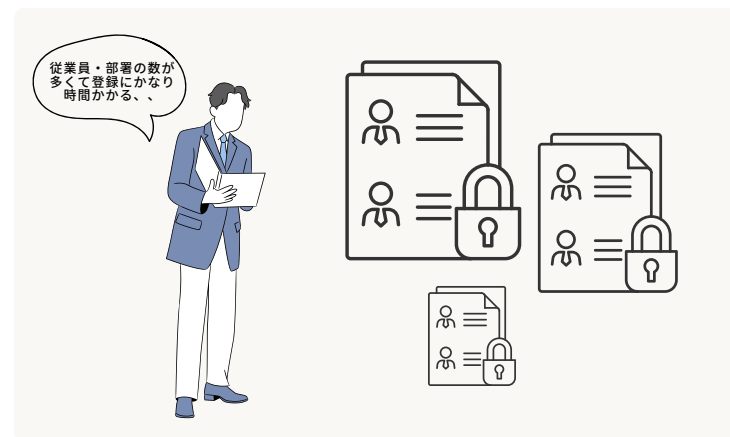
シンプルで直感的な操作ができる **UI/UX** にしています！



メニューバーから使いたい機能を選択します。機能のイメージアイコン、タイトルを見て、直感的にクリックするといった操作でさまざまな設定を簡単にできます。

安否確認の回答結果はExcelの方眼紙のような、なじみのある見た目なので分かりやすい！数字をクリックして、回答に該当するユーザーを一覧で表示できます。

3 人事異動、入社退社時のシステムのメンテナンスが大変



システムの人事情報は、常に最新の情報を保たなければ災害が発生した時に従業員にたいして、適切に通知が送られない可能性がある。ただ、メンテナンス作業が多いと他の業務に着手できなくなるなど生産性が低下することも。

安否確認サービス2で解決！

1クリックで **人事情報システム** と連携できる！



人事・労務担当者が手作業で行う従業員情報の更新や入社者情報の登録は、安否確認サービス2内に設置されたボタンよりワンクリックで同期され、従業員情報の二重管理の手間を無くし効率化を促進します。

安否確認サービス2の乗り換えは超簡単。
乗り換えの悩みとおさらば！

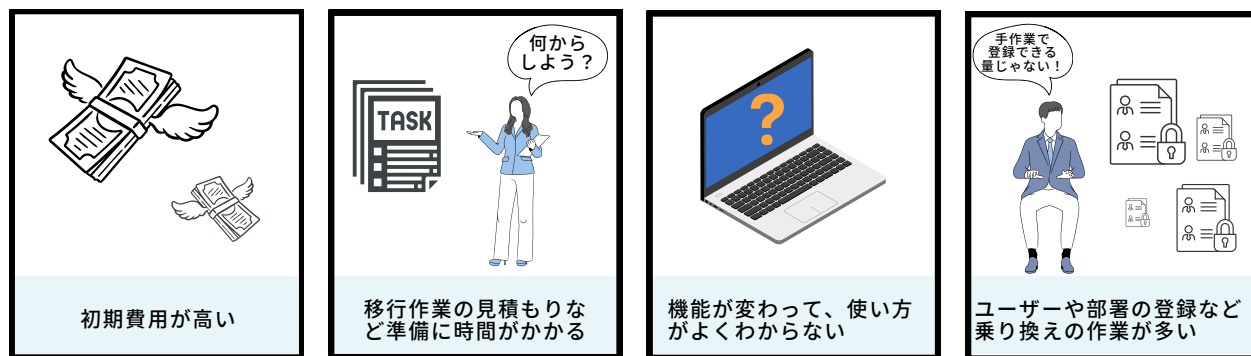


安否確認システムの乗り換えでこんなことに困っていませんか？

乗り換え作業や仕様の確認、また違いによる運用の見直しなど、思うように導入が進まないケースは少なくありません。

結果的に移行の負担が大きくて、導入しているシステムに課題はあるけど乗り換えを諦めるしかないと多くの企業の担当者が頭を抱えています。

● 安否確認システム乗り換え検討企業のよくあるお悩み例



お悩みの原因はこれだ！

一般的に乗り換えとなると解約費用や新しいシステムの初期費用などのコストが発生します。特に初期費用は10万円～20万円程度かかるため、緊急時の利用が主な用途となる安否確認システムの特徴から"あまり費用をかけたくない"と社内承認が通りづらいという声がよく聞かれます。さらには、移行作業の見積もりや作業、機能や仕様の学習にかなりの時間がかかるため乗り換えを諦める企業が多いようです。導入中のシステムが災害時に使えなかった、人事異動や入社退社でのメンテナンスに膨大が時間がかかるといった課題が軽視されて、なানাになり、いざという時に使えないという負のスパイラルに陥るのです。

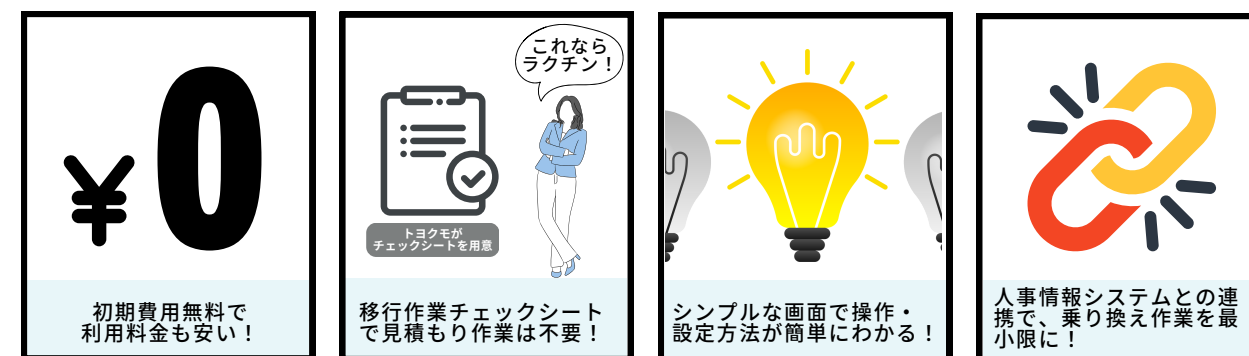
成功の鍵はこれだ！

安否確認システムの乗り換えを成功に導く鍵。それは「初期費用」「メーカーのサポート」「システムの使いやすさ」「人事情報システムとの連携」にあります。初期費用が0円であれば、費用面で指摘されることはなくなります。移行作業の見積もりに関する資料をメーカーが提供していれば、調査時間を最小限に抑えることができます。システムが使いやすければ機能・仕様の学習に時間がかかりません。導入している人事情報システムと連携ができれば、ユーザーや部署の初期登録、メンテナンスの作業が減ります。

安否確認サービス2への乗り換えは低コスト・少ない作業でできます！

よくあるお悩みを解決するための移行先としておすすめなのが、トヨクモの安否確認サービス2です。安否確認サービス2は、初期費用が無料で利用料金が安いです。また、普段触れることない緊急時に利用するツールだからこそシンプルで直感的な操作ができるUI/UXにしています。ユーザー・部署情報の移行は、人事情報システムと連携して簡単にできます。

● 安否確認サービス2 乗り換えの特徴！



乗り換えの流れがまるわかり！ToDoチェックシートを使って、乗り換えをスムーズに進めましょう！

● 他社サービスと安否確認サービス2の乗り換え比較 (※1)

	トヨクモ 安否確認サービス2	警備系大手S社 安否確認システム	通信系大手N社 安否確認システム	WebサービスI社 安否確認システム
初期費用 (導入費用)	◎ ¥0	△ ¥100,000～ ¥200,000～	△ ¥110,000～ ¥220,000～	△ ¥200,000
月額費用 (100ユーザー)	◎ ¥9,800～	○ ¥12,000～	○ ¥10,000～	¥40,000～
返金制度	◎ あり	× なし	× なし	× なし
乗り換えサポート	◎ 専用のサポートデスク 乗り換えチェックシートや社内提案書テンプレートをご用意	○ 電話/問い合わせフォーム 乗り換えに関するサポート資料はなし	○ 電話/問い合わせフォーム 乗り換えに関するサポート資料はなし	△ 問い合わせフォーム 乗り換えに関するサポート資料はなし
通信遅延への対策	◎ サーバー拠点を国際分散 大規模訓練	△ サーバー拠点は 東京・大阪	非公開	△ サーバー拠点は 東京・大阪
人事情報システム 連携	◎ API連携対応 SmartHR/freee人事労務/ cybozu.com/Google Workspace	× なし	× なし	× なし

※1 トヨクモ株式会社調べ 調査概要：2023年7月時点の各社HPを調査

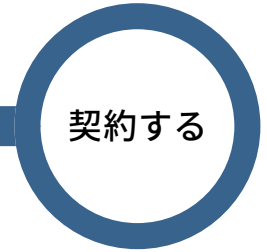
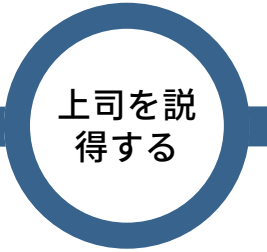
乗り換えの流れを
ToDoチェックシートで確認！



乗り換えの流れがまるわかり！ ToDoチェックシート

ステージ 1. 情報整理 → 2. お試し → 3. 提案 → 4. 手続き/導入

ステップ



日程

月 日

月 日

月 日

月 日

月 日

todo

乗り換えに必要な情報や作業を確認しましょう。

- 課題の整理
- 安否確認サービス2と導入中のシステムの機能を比較
- 安否確認サービス2と導入中のシステムの料金を比較
- 導入までの流れを確認、仮の予定を立てる

機能検証、課題が解決できることを確認しましょう。

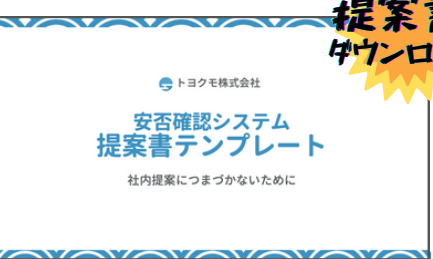
- 課題に沿って、機能や使い勝手などを確認、体験する
- 一斉送信、コミュニケーション機能の検証
- 災害連動の自動一斉送信の検証

他部署のユーザーや部署を追加して、運用を想定した検証をしましょう。

- ユーザー・部署の追加（人事情報システム連携 or 導入中のシステムから人事情報を書き出して編集、読み込み）
- ユーザー・部署を人事部が行う場合は、登録方法を説明、実際に追加してもらう
- 乗り換え後の運用体制を決める
- 運用にあわせた、メールや設問のないようを登録する

課題や比較の情報、検証結果を提案書にまとめて、上司に提案する

- 社内提案資料のテンプレートをDLする
- 社内提案資料のテンプレートを編集する（課題や比較の情報、検証結果の情報をまとめる）



https://anpi.toyokumo.co.jp/docs/anpi_system_proposal.zip

契約のために導入準備、手続きをする

- 予算の確保/社内手続きをする
- 安否確認サービス2の情報を全ユーザーで周知、連絡先を登録してもらう
- 本申し込みフォームから申し込む ※お試し環境を本番佳境に引き継いで利用できます。

提案書をダウンロード!



ポイントを押さえて
導入をスムーズに進めましょう!



安否確認サービス2を導入する 4つのポイント！

Point 1

導入中の安否確認システムとの違いをチェック！

使いやすさや機能、災害時の稼働実績や動作検証の有無、料金・プランなど違いを比較して乗り換えの判断をしましょう。

安否確認システム

比較のポイント解説から
評価までを完全網羅！

大手2社との比較表

トヨクモ
安否確認サービス2

安否確認サービス2の製品ページで他社製品との比較情報を公開しています。また、比較シートを活用しましょう！

<https://anpi.toyokumo.co.jp/docs/hikaku.pdf>



Point 3

導入中の安否確認システムの設定を反映させる！

災害連動の自動一斉送信の設定やメール、設問のテンプレート登録、人事情報の書き出しや読み込みなどを行いましょ。安否確認サービス2では、操作や設定のご不明点をご担当者様ご自身でご解決いただけるように操作ガイドやヘルプサイトをご用意しています。

安否確認サービス2 操作ガイド

トヨクモ
安否確認サービス2

操作ガイドの使い方

操作ガイド

安否確認サービス2

ヘルプ

Point 2

無料お試しで実際に違いを体験する！

回数制限がない、無料お試しで導入中の安否確認システムとの違いを体験しましょう。
※無料お試し中もすべての機能をお使いいただけます。
※期間終了後、自動契約はされませんのでご安心ください。

30日間無料お試しURL：
<https://anpi.toyokumo.co.jp/trial.html>



Point 4

ユーザー・管理者に習熟コンテンツを用意する！

また、操作マニュアルは、ユーザー・管理者それぞれをご用意しており、資料だけでなく動画でも操作方法をご確認いただけます。

安否確認サービス2 機能紹介【前編】

トヨクモ
安否確認サービス2

操作の説明 ~前編~

この動画では、安否確認サービス2の機能である

- ①メールテンプレート及び設問フォームの作成
- ②自動一斉送信の設定
- ③通知方法
- ④連絡状況

以上の4点についてご説明します。

動画マニュアル

安否確認サービス2

掲示板の詳細

安否確認サービス2の使い方はこちらを確認してください。

※動画を上げると、音声での説明が聞けます

閉じる 動画の続きはこちら

！ 掲示板機能をつかって、ユーザーに対して操作ガイドやヘルプマニュアルを共有して、いつでも使い方を確認できるようにしましょう！

安否確認サービス2に乗り越えた
お客様の声をチェック！



他社システムから安否確認サービス2の乗り換えたお客様の声

株式会社アトックス様

事業： 原子力発電所保守管理/原子燃料サイクル施設関連業務など
従業員数： 1,983名(2022年9月末時点)

メンテナビリティの高い製品へ乗り換え

原子力施設のメンテナンスサービスの総合エンジニアリング企業である株式会社アトックスでは、東日本大震災で複数拠点が被害を受けて、調査隊を派遣し人的に安否確認を実施。全従業員の情報収集に2週間かかった結果を踏まえ、2014年に本社の従業員200名を対象にA社の安否確認システムをテスト導入。人事情報のメンテナンスや災害時の業務工数を削減するため、2018年に安否確認サービス2を導入し、現在は対象を全社の従業員1983名に拡大し活用しています。当社が9月1日（防災の日）に開催した一斉訓練に密着して、安否確認サービス2が果たしている役割、その効果についてお話を伺いました。

課題



東日本大震災で全従業員の安否確認に2週間かかり、安否確認システムを導入。しかし、平常時の人事情報のメンテナンスに膨大な作業工数が発生。

効果



人事情報のメンテナンスを自動化し労働生産性の向上を実現。

ご担当者様の声

毎年約100名程度の人事異動があり、頻繁に人事情報をメンテナンスしています。人事情報管理はシステム開発会社に委託し開発した自社独自の人事管理システムで行っていて、A社の安否確認システムは連携することができず、重複してメンテナンスする必要があり膨大な作業工数が発生していました。人事情報のメンテナンス業務を夜間に対応するなど、労働生産性の低下を感じ、人事管理システムと人事情報を連携できるトヨクモの安否確認サービス2へ乗り換えました。安否確認サービス2の導入後は、人事情報のメンテナンス業務が一元化されて、人事管理システムの情報が自動的に反映される仕組みになり、業務効率が上がったことで、労働生産性が向上したと思います。

人事労務部 副課長 鈴木さん



詳細はこちら

<https://anpi.toyokumo.co.jp/case/atox.html>

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス様

事業： グループ全体の経営管理（グループ戦略の策定やグループ経営のモニタリングなど）
従業員数： 4,261名（2021年12月時点）※連結

操作画面がわかりやすく誰でも簡単に使えるのが魅力

「喜ばれることに喜びを」-1929年の創業以来、直接お客さまに寄り添いその時代に対応した商品・サービスを提供するポーラ・オルビスグループ。「POLA」と「ORBIS」の両基幹ブランドを中心に、百貨店ブランドの「THREE」、「Amplitude」、「FIVEISM × THREE」、「ITRIM」など、日本、アジアをはじめとする世界各国にて多様な販売チャネル・価格帯で事業を展開する企業グループが災害時の初動対応の強化を図って導入したのが安否確認サービス2です。今回は安否確認サービス2を選んだ理由や導入後の効果、今後の運用などについて、コーポレートコミュニケーション室 サステナビリティ統括チームの南部さんにお話を伺いました。

課題



管理者が同時に従業員の安否情報を確認できない。また安否確認の順番待ちが発生して、初動対応が遅れていた。

効果



安否確認サービス2で安否確認・状況確認する体制を構築。管理者の安否確認作業を効率化して、迅速な初動対応を実現。

ご担当者様の声

以前利用していた安否確認システムとトヨクモさんの「安否確認サービス2」、そして類似する2製品の計4製品を比較検討しました。汎用性が高いシステムであることを大前提に、従業員・管理者の操作性が良く、また低コストで導入・運用できることを重視していました。

特に安否確認サービス2はデータインポートの仕様がシンプルで分かりやすく、要件定義の段階では人事部門や情報システム部門との調整がスムーズに行えました。

課題であった管理者アカウントの同時アクセスについても、追加費用を支払わず無制限に管理者権限をユーザーに付与できるため、BCP対策を柔軟に見直すことができます。また、常に最適化された状態でサービスを利用できることも導入の決め手となりました。

コーポレートコミュニケーション室
サステナビリティ統括チーム 南部さん



詳細はこちら

<https://anpi.toyokumo.co.jp/case/po-holdings/>

／もしもの安否を簡単に／



安否確認サービス2

回数制限なし
無料お試し

30 日間

月額

6,800円～

初期費用

なし

解約費用

なし

他社サービスからの移行について

無料お試しで基本機能や人事情報の移行などの検証を実施することが可能です。現在ご利用されているサービスの機能に合わせた移行方法をサポートデスクでご案内しています。

※表示価格に消費税は含みません。

※料金・プランの詳細は[こちら](#)からご確認できます。

※サポートデスクには[こちら](#)からご相談できます。



サービスに関するお問い合わせは、安否確認サービス2 Webサイトへ

<https://anpi.toyokumo.co.jp/>

※他社登録商標・商標をはじめ、当社のサイトその他カタログ、マニュアル等に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

<https://www.toyokumo.co.jp/copyright>

©トヨクモ株式会社 | Toyokumo, Inc.

お問い合わせ先